

日本海に遊ぶ

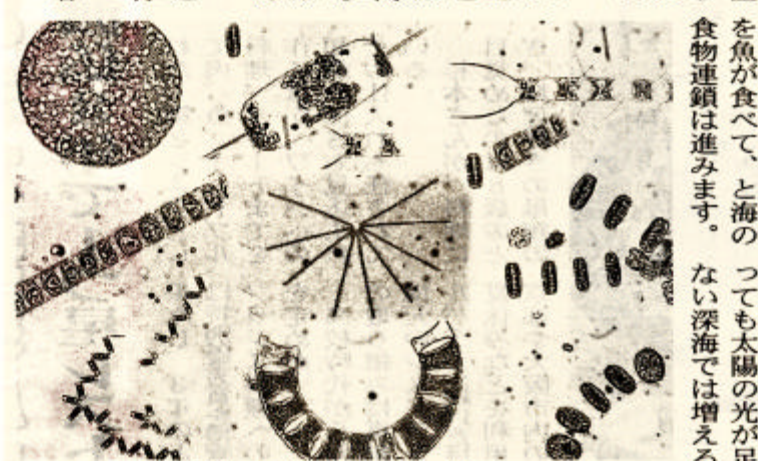
京都大学水産実験所職員
上野 正博

海の春

います。陸上の草がいつせいに芽吹くのは3月、気温が上がり始めてからですね。でも、海の表層水温が一番冷たくなるのは3月の初

め春が始まろうとして、陸から供給される空気の寒さが死骸は海の底へと沈んでいきます。このため、水深数百メートルまでは深いところほど栄養分が多いのです。植物プランクトンは、その名の通り植物です。植物プランクトンが増殖できます。つまり、海の春は水温の上昇がもたらすのではなく、水温が下がることで盛んになる深層栄養分の海面への補給がもたらしているのです。

「この冬は暖冬」といふ長期予報がはずれたと、気象庁はついふん叱られてるようです。でも、丹波・丹後ではやっぱり暖冬ではないでしょうか。寒い年なら毎朝のように凍り付く我が家の水道が、この冬はまだ一度も凍っていません。何より雪が少ないし、舞鶴も雪物の冷たい時雨もずいぶん少ないように思



いろんな形の植物プランクトン

さて、1月の終わりが、海では植物プランクトンが大増殖を始める春が始まろうとして、陸から供給される空気の寒さが死骸は海の底へと沈んでいきます。このため、水深数百メートルまでは深いところほど栄養分が多いのです。植物プランクトンは、その名の通り植物です。植物プランクトンが増殖できます。つまり、海の春は水温の上昇がもたらすのではなく、水温が下がることで盛んになる深層栄養分の海面への補給がもたらしているのです。

それにしても、暖冬予報が外れたとマスコミが大騒ぎしているのは、東京周辺で雪がよく降るせい。でも、東京や大阪で大雪が降るのは春の初めが多いのです。この冬の気圧配置は春型が多く、やはり暖冬なのではないでしょうか。